

地域の わ 通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川県神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

Case 9

「六角橋北町のむかしを知る会」実行委員会

六角橋北町のむかしを知る会



■あなたの町自慢、思い出を話そう

ちょっと前から、ずっと昔のことまで、住んでいる町の今昔を語る会が、六角橋北町で開かれている。北町とその周辺の昔の様子が見える写真や地図などを手掛かりに、「岸根公園はかつて野戦病院だった」「北町には牧場があったらしい」など、当時を知る人からの一言で話が次から次へとつながり、場が一気に盛り上がる。

この「六角橋北町のむかしを知る会」を企画するのは、六角橋北町自治会の防災部に所属している岩崎久美子さん。平成29年度の地域づくり大学校で学び、地域で実践したい「夢プラン」にこの会を描いた。

日頃より地域の人から断片的に昔の町の姿を聞く機会があり、ふだん何気なく歩いている道や気に留めていなかった所が、かつては意味のある場所だった

ことがわかってきた。また、その当時の様子を語る住民が、いつも以上に生き生きと話してくれることも嬉しかった。身近なところに昔の話を語り合う場があれば、住民同士の顔がにつながる交流になるのではと、この取り組みを思いついた。

これまで7月7日と22日の2回、六角橋北町自治会館で開催し、12月9日には、六角橋中学校コミュニティハウスと連携して開催した。毎回10名～20名ほどが参加し、かつての町の姿から、近くに住む芸能人のネタまで話題は幅広く、時間が足りなくなるほど。「自分が知らない地域の昔のことが聞けてとても刺激になる楽しい会です。」と参加者は笑顔で話す。

■3人集まれば何でもできる！

自治会でもこの会を温かく見守っている。気楽に参加できる場になるよう、



【六角橋北町のむかしを知る会】

開催日：不定期

参加費：無料

主な会場：六角橋北町自治会館

茶菓の用意や会館の提供、広報チラシの印刷や回覧板などで協力をしてくれている。

この会の活動を手助けしてくれているのも自治会の役員仲間で、地域づくり大学校で学んだ「地域活動は3人集まれば始められる」の教え通り、親しい2人に声をかけ、実行委員会のメンバーとして関わってもらっている。

■次のプランは“町の坂道に名前をつけたい”

「将来的には不定期でもこの会を続けて、顔見知りを増やす場にしたい。それが災害時にお互いが助け合える関係を作っていくと思っています。」と岩崎さん。さらに「この会の延長線上に、町の坂や通りにわかりやすい愛称を公募して命名できたらと思っています。それが地元を知るきっかけになり、地域愛が育つのではと期待しています。」と続ける。

結婚を機にこの地に移り住んだ岩崎さん。地元をもっと知りたい思いが、高齢者に優しく、地域交流が盛んな住みよい六角橋になる原動力になりそうな予感がある。